

かけ橋



令和7年5月30日
小平市立
小平第八小学校
6月号

<https://www.kodaira.ed.jp/08kodaira>

こどもも大人も「夢を描き、追い求め、実現する」

校長 松本 雅史

つつじや薔薇から紫陽花と、花々の華やかなバトンリレーが続いています。保護者、地域の皆様には、常日頃から本校の教育活動に対しご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

先月は、中低学年遠足がありました。3, 4年生は、「1, 2年生を楽しませたい!」「上級生として立派な姿を見せたい!」という強い願いをもってこの遠足に臨みました。異学年遊びで、上学年は、下学年を本当にあたたかくリードし大活躍でした。公園中に子どもたちの笑顔が広がりました。こうした頑張りや関りを通して得られる達成感、充実感、成長の手応えも大切な「夢の実現」ですね。

また、6年生の移動教室もありました。「よく学びよく遊べ」といいますが、6年生は、そのどちらも実に上手に楽しむ天才でした。話の聴き方、礼儀正しさ、爽やかな挨拶も見事ならば、レクリエーションでの楽しみ方も天下一品! この2泊3日を通して、一層、仲間の絆を深められたのではないのでしょうか。

さて過日、三菱電機ビルソリューションズ株式会社「教育センター」内の体育館で、「絵画展 口と足で表現する世界の芸術家たち」が開催されました。どの作品も手の自由を失った方の作品とは思えない精緻さと伸びやかさで、観る者を圧倒しました。どれも明るい色彩に溢れ、絵を描く喜び、生きる喜びが伝わってきました。

この絵画展では、画家による絵画制作の実演も行われていました。4年生が鑑賞に伺ったとき会場にいらしたのは、大阪府の森田真千子さんでした。森田さんは、生後10ヶ月の時に、高熱による脳性小児マヒのため四肢マヒとなり、両手両足が使えなくなりました。子どもたちに森田さんは優しく語りかけます。

「みんな、スポーツでも勉強でも、ああ疲れたな…やりたくないな…と思う時ってあるんじゃない。そういう時は、休んでもいいんだと思うよ。でも、また始めるんだよ。そうやって続けていくことが大切なんだと思うよ。あきらめないことが大事ですよ。…」

ご自身の人生を通して実感的に語られる一言一言は、とても重く、そしてとてもあたたかかったです。

そして、子どもたちの質問にもとても丁寧にお答えくださいました。

「1枚の絵を仕上げるのにどのくらいの時間がかかるのですか?」

「あ! その花火の絵あるでしょ、あれは半年かかったね。」

さりげない言い方とは裏腹の内容にみんなびっくり! 1枚の絵に半年も!!

「私だってもう描くのをやめちゃおうかって何回も思うんだよ。でも描くのよ。」

ああ、そういうことか!

「休んでもいいんだと思うよ。でも、また始めるんだよ。そうやって続けていくことが大切だと思うよ。」

というさっきの言葉には、ご自身の努力と思いがたくさん詰まっていたんだ…と、改めて感じました。

本校は、「夢を描き、追い求め、実現する」がテーマです。何といたっても、「夢に向かって、ひたむきに生きる」人そのものからの啓発こそが大切だと改めて実感しました。そして、私たち大人こそ夢に向かって生きる人を求める心を忘れてはいけない、夢に向かって生きていくことが何より大切だと感じました。



6月の生活目標 「廊下は右側を静かに歩こう」

「廊下は右側を静かに歩く」というきまりは、みんなの安全と落ち着いた生活を守るために大事なきまりです。想像してみてください。教室から飛び出したその先に、階段を下ったその先に、もしかしたら同じように「つい…」

「ちょっとだけなら…」という人がいるかもしれません。どんな危険が待っているのでしょうか。

自分、友達、全校児童の安全や落ち着いた生活を守るために、廊下(階段)は右側を静かに歩きましょう。

これからも「八小スタンダード」を基に、安心・安全な学校づくりを全校児童・教職員で行っていきます。

生活指導主任